

INTERVIEW

森田会長 & 鳴本実行委員長

インタビュー：川本雅由

総会とはなんぞ？

あなたも参加し実感してください。

第15回定時総会開催

2024年6月19日(水) 第15回定時総会 in 東京

翔んで東京！都内満喫ツアーフェス
～もう総会なんて行かないなんて、言わせないよ絶対！～

Q. 総会の意味と企画の意図は？

会長 総会は物事を決め、大事なことを伝える場です。しかし、それだけではもったいない。「1年に1回、皆で顔を合わせ楽しくお祭り騒ぎしよう！」を目指しています。

Q. ここ数年、クイズ大会、力自慢、利き酒大会など楽しい企画が続いています。

会長 私の案ではなく、この人は楽しいことを考えてくれるかなど話を振ると、良い案を出していただけます。2年前の「クイズ大会」は、大塚実行委員長が仕切ってくれたのが大きいです。今回は、鳴本実行委員長に「若気の至り」をもう一度やってほしいと伝えました。

委員長 やるからには総会の意味とか意義の軸を作ろうと、自分なりに調べました。世の中には株主総会、PTA 総会など多様であって、それぞれの団体、組織の最高意思決定の場です。石産協の組織図は、会員がいて、支部長がいて、その上に地区長、副会長、会長と、ピラミッド型です。そして、会長の上に理事会、さらに監事、トップに総会とあるので、やっぱり総会はめちゃくちゃ大事な場だと思いました。今までは、意識はしませんでした。改めて総会の重さを感じ、いいプレッシャーを受けました。

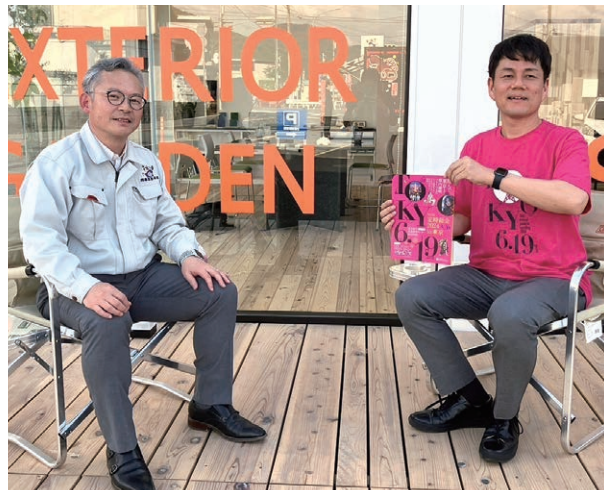
Q. コンパクトにするという勢いのある形は、恐れず企画したのですか？

委員長 森田会長の「新しい風を吹かせてほしい」という意図から、石産協に浸かっていない、新しい感覚の人がいいなあと思い、実行委員会の組織づくりをしました。2年前の大塚実行委員長が総会の幅を広げてくれたので、非常にやりやすく、諸先輩方にはとても感謝しております。

ターゲットは地方でくすぶる若手。特に、東京とか、総会とか、石産協とかに対して少し腰の重さを感じている若手に来てもらうにはどうしたらいいのか。そして、日帰り可能な一日完結型総会を目指しました。あえて「コンパクト」というキーワードで参加のハードルが下がればいいという狙いです。

Q. 初参加の方が得られることはありますか？

会長 何か得られるからではなくて、総会とは本来参加するものです。ただ総会をするだけでは退屈なので、趣向を凝らし企画しています。おもてなしという面では東京は地方に劣る点もあります。今回は「参加して損はさせません」という気持ちが企画内容からも窺えます。



Q. 気になるツアーはありますか？

会長 特に気になるのは、アートコースです。こういう機会を利用しないと自分の発想だけでは選ばない場所なので。

Q. 苦労した点は？

委員長 企画は、あくまでも総会に来てもらうため。各コース、魅力的ですが、案内する実行委員会メンバーの人的魅力も付加価値になると思ったので、結果的にクセの強いメンバーを集めました。会員には様々な方がいらっしゃるの、タイトル、チラシ作りなど、どのように受け取られるのかという不安と、バランスのとおり方は苦労しました。

Q. 会員へメッセージを

会長 「メリットが無い」と退会する方はとてももったいない。実際参加したら仲間が出来たり、世界が広がったり、自分から出ていくことでメリットにつながると思うのです。「昔はよかった、今の若者はこれから大変」とよく聞きますが、自分の若い時代もバブルが崩壊し、霊園ブームも去り、「よくお前ら後継ぐなあ」と同じことを言われていました。ですが、やり続けていたら20年以上たっていました。おそらくこの先も同じで供養を必要としている人、石が必要な人はいらっしゃるのです。昔は良かったのではなく、今が一番いいと思いたいし、そういう価値観を共有できるのが石産協なのです。

委員長 業界の先行きを不安に思い、将来に希望が見いだせないことも否めませんが、人口減の日本で勝負するどの企業も似たような状況なので、この業界だけが先真っ暗だとは思っていません。その中でも生き残っていこうと思うと、情報なり、人脉なり、学びの場というのは積極的に掴んでいく必要があります。業界団体での人との繋がりがや出会いや気づきは必ず役に立つはず。特に今までこういった機会がなかったという人ほど、ちょっと無理してでも、自分を変えるキッカケにし、自分の背中を押して参加していただければ嬉しいです。



社内のみなさまで
閲覧してください

2024年
5月15日発行
(隔月15日発行)

LINE公式
アカウント

お友だち
1000
プロジェクト
LINE限定の協会
情報発信中。急
げ！「友だち登録」



石産協通信は
Webでも
閲覧できます。

石産協HP
(会員ページ)

ログインID:
groupjapan

パスワード:



Let's
お暮参り



総会
申し込みは
こちら▶

ツアー見どころ
紹介動画は
こちら▶

なお、[2.お墓コース]
は定員に達しました。



総会資料(定時総会の審議事項)は、全会員に5月28日発送予定です。ご確認の上、議決書または委任状をWebまたはFAXでご提出ください。
*定款第27条より:総会は、構成員の過半数の出席をもって成立する

総会第4号議案は「会費の変更(案)」を予定

第15回定時総会の第4号議案は、「会費の変更(案)」についてご審議いただく予定です(議案の正式決定は、2024年度第1回理事会にて)。

当会の会費は2015年度に一度変更しておりますが、2023年度の会費収入は会費変更前とほぼ同じであり、会費収入から必要経費を差し引いた事業費も以前と同じ約600万円です。

これは会員数の減少に伴うもので、会員拡大ができていない結果です。大いに反省すべき点ですが、現状の事業費600万円では思うような活動はできず、会員のメリットの向上や地区・支部事業を活性化させるためにも「会費の変更」は必要不可欠な状況となっております。※会費を変更する場合、2025年度からの適用となります。

会費変更の目的・理由

- 1) 会員メリット向上のために、
広報活動やイベント開催等に予算を掛けるため
- 2) 地区・支部事業を活性化させるため
(地区全体会議や支部事業助成金などに対する本部支出の見直し)
- 3) 災害等の緊急時に対応できる予算を確保するため
- 4) 会員数の減少、また物価の上昇を受け、
既存事業の継続が難しいため
- 5) 専務理事もしくは事務局長を、
将来的に雇用するため(常勤・外部人材)
- 6) 事務局の維持コストの増加のため

会費の変更(案)は下記のとおりです。何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。

会員種別	従業員数	会費
A	~5	39,000円
B	6~10	45,000円
C	11~20	56,000円
D	21~30	68,000円
E	31~	79,000円
S	賛助会員	79,000円

事務局より **会員番号が新しくなります。**

新会員番号は、会費請求書と同封し、お知らせします。また、石産協通信などの郵便物ラベルにも掲載しています。今年度から立ち上がる予定のECサイトや、お墓ディレクター検定試験の受験に必要な会員番号です。

メディア対策委員会より [メディア対策委員長: 鳴本太郎 / 担当副会長: 大塚俊明]

「秋分の日はお墓参りの日」 ポスター配布

絶賛
制作中

今年はガラリと趣向を変えてみました。「墓石の購入層とお墓参りの層を分けてみる。」というコンセプトのもと、お墓参りは行動力を要するが、お金はかからないので若い世代に託してみよう! とし、元気で明るい渋谷ギャルを起用しました。このチャレンジに対し、正副会長会議、理事会はもとより、支部長連絡会議でも多くの応援をいただいたので勇気を振り絞って刷ってまいります。とにかく元気にしたいその一心で作りますので温かいご支援よろしく願いいたします。詳しくは同封のチラシをご覧ください。



協力: PHOTO MAGAZINE [LOALO] (株式会社シエヴァ)

4・14(よい死の日) 「Deathフェス」に参戦

2024年4月13日(土)~18日(木) 渋谷ヒカリエ8階

デスフェスの名の通り「『死』に対して自由にポップに前向きに考えよう」というイベントに「墓石部門」として出展しました。6日間で2,000人近い来場者となる大賑わいで、従来のエンディングイベント来場者とは異なる客層と接客することで、業界の将来を考えるヒントを得ました。渋谷ギャルによる「死をテーマ」としたグループディスカッションやド派手な棺桶まで、何から何までPOPなイベントでした。



イベント詳細はXで▲





ちばまさゆき
千葉正行さん

岩手県支部長／
(有)セイコー石材

**お客さまのニーズ、
ご先祖さまへの思いに
誠心誠意寄り添う**

私の会社は今年で創業25周年を迎えました。石材の会社に勤務し12年、独立し会社を起業したのは36歳の時。家業を継がれた方が多いこの業界で、私は一代で築いた事業なのですが、残念ながら継承が脳裏にちらつく年代となってしまいました。(中学生の孫娘はとても石が好きで旅行へ行っても石に関わる場所へと行きますが…笑)

ご承知のようにお墓に至っては考え方も大きく変わって墓じまいなど供養の仕方も様々な形へと変化致しました。お墓も次の世代への継承が難しくなっていると実感しております。今後は永代供養塔などへの需要が増してくるのではないのでしょうか。それでも都会と違い地方にはまだまだお墓を大切に守っている方々が大勢いますので、お寺さんや地域のみなさんに「あそこに任せたら安心」と言われるよう、これからもお客さまのニーズ、ご先祖さまへの思いに誠心誠意寄り添いたいと思います。そして自分が培った技術や知識を従業員が継承していってくれることを期待しています。

わたしの夢

my Dream

この想いを夢のバトンに託して、
出来るだけ多くの人に手渡したい。



まつがみひろゆき
松上浩幸さん

石川県支部長／
石のや石材(株)

**みなさんと一緒に、
この業界の
未来をつくりたい**

私は小さな頃から物を作ることが大好きで、小学生の頃、父の仕事の道具を使って、石でカエルを作ってみました。そんな頃から石屋になろうと思っていました。そして高校卒業後、愛知県の岡崎で4年間、石の事を学び現在に至っております。私と妻、従業員3名の会社ですが、施主はもちろん同業者からも認められる会社になりたいと考えています。現在、様々な理由で墓じまいが増えていますが、お墓離れを何とかして欲しい。やっぱりお墓が必要とっていただけるようにしていきたいと考えています。石産協の各委員会では、いろいろと考え、頑張っていたいっているわけですが、私もみなさまと勉強し、石材業界が良くなる様、頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



私の地元
これが
おススメ!

「秀寿司」(小松市)

地元の新鮮なネタをつかった
寿司がとにかく旨い!
<https://hidezushi.gorp.jp/>

災害対策勉強会

2024年3月29日(金)、4月16日(火) オンライン開催 参加者:20名

2024年1月1日、能登半島で甚大なる地震が発生し、災害対策特別委員会では、1月上旬より数回の調査と、現場で何ができるか協議を重ねております。全国支部長連絡会議でもこの活動の重要性を再確認し、支部でできることなどを話し合いました。様々な課題がありますが、地元から要請が来たとき、迅速に活動できるよう準備し、災害支援活動を円滑に、継続して行うために現場での即戦力となるリーダー育成勉強会を開催しました。初回は活動の概要と、質疑応答。2回目は戸部顧問弁護士に現場で起こりうるトラブルへの対処をお話いただきました。全国から志のある方が参加くださいました。ありがとうございます。いよいよ現地入りし、支援活動を行うこととなります。支援活動にご参加いただける方を募集中です。事前登録をお願いいたします。[災害対策特別委員会 齋藤繁樹・川本恭央]

災害協定締結

(2024年3月31日現在)

締結日	甲	乙	丙
3月25日	香川県	香川県支部	(一社) 日本石材産業協会
	愛媛県伊予市	愛媛県支部	
3月26日	愛媛県砥部町		

※愛媛県支部では、愛媛県と県内20市町すべてで災害協定締結を完了しました。

新潟県支部の活動

新潟県石材業者 災害支援ネットワーク 設立総会

2024年3月23日(土) アトリウム長岡

新潟県支部が中心となり、県下石材業者災害支援ネットワーク(齋藤繁樹代表)を設立しました。石材業者が長年に亘って生業としてきたお墓、石材建造物が大規模災害にあった時、県下の石材業者が結集し、被災した人々が一日も早い復興が出来るように支援させて頂くことを趣旨に多くの石材店にご賛同いただきました。大規模災害はいつ襲ってくるかわかりません。まだまだお声掛けできていない石材店への告知を広めてまいります。[新潟県支部長 林 敏雄・次期支部長 森澤達矢]



会員数:1,095名(2024.4.1現在) 地元やお取引先の石材店をご紹介ください。全国組織のネットワークを通じ、石材業界を盛り上げていきましょう。



2024年度より、お墓ディレクター委員会 委員長のお役を頂戴しました原 真です。

OHAKA DIRECTOR



2019年度よりお墓ディレクター委員会に携わり、小野委員長のもと気楽に活動させていただいてきましたが、お墓ディレクター委員会としては6代目の委員長になるとのことで、身の引き締まる思いです。先輩たちが築いてくださった礎の上で、委員会メンバーや会員みなさま、さらに大きく言えば石材業界や日本社会のために、少しでもお役に立てるよう精進して参ります。さて、今年で20回の節目となります「お墓ディレクター検定試験」につきましては、昨年より開催方法の見直しを検討して参りまして、今回より2級試験はオンラインでの受検が可能となるよう設営させていただきます。また、1級試験につきましては、全国7会場で受検ができるようになるなど、できるだけ多くの方が受検しやすいよう設営いたしますので、この機会に改めて、石材人としての礎となる知識やその理解を深めていただけますと幸いです。検定試験の運営以外にも、一般の方々に対して、お墓というテーマで気軽にコミュニケーションが図れるような方法を思考錯誤し、会員みなさまに共有・ご活用いただけるような働きをいたします。今年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。[お墓ディレクター委員長 原 真]



建築・環境部会

「これは、石材の建材品なのか？ アート作品なのか？」

2024年3月22日(金) 関ヶ原石材(株)本社工場・岐阜県不破郡関ヶ原町

館内に入った瞬間、不思議な感覚に陥りました。全国建築石材工業会会長であり、関ヶ原石材(株)会長の矢橋達郎氏のご厚意により実現した今回の研修会。関ヶ原石材(株)本社工場見学と「アントリーニ」「ストラド」二つのギャラリー見学です。工場見学については、広大な敷地、最新の建築石材専用の加工機械の充実ぶりや整然とした職場環境に、参加者から感嘆の声が多く聞かれていました。とにかく圧巻だったとの感想は、ギャラリー見学です。「自然石は、ここまで美しく多彩なのかと感動の連続でした」というのがほぼ全員の感想です。建築石材企業トップの将来を見据えた取組みと姿勢に、多くの学びと感動を得られた研修会となりました。見学後は部会会議を開催し、研修会の感想や、恒例の情報交換、参加者同士の交流につながりました。今回、素晴らしい対応をしていただいた関ヶ原石材のみなさまには、大変お世話になりました。[建築・環境部会長 友常千秋]



顧客満足推進委員会

ガイドライングッズが完成

ガイドライン登録事業者のみなさま、お待たせしました！「墓石工事契約等ガイドライン」グッズ第一弾が完成しました。今回はのぼり、マグネット、名刺用シールの3種類です。登録店のみなさんがグッズを活用し、「墓石工事契約等ガイドライン」の認知度を高めて参りましょう。詳細は同封の購入申込書をご覧ください。今後は、お客さまにお渡しする「リフレット」(ガイドラインの説明書)を作成予定です。そして、登録店を拡大・受付中です！[顧客満足推進委員長 大北和彦]



母の日参り セキサンキューツ賞決定！

ゼッケンの 縫い目ひとつに 母がいる 【排号 ゆみ】

陸上部に所属していた時、ほつれるたびゼッケンを直してくれた母。その縫い目には母の熱い想いが込められているような気がしました。

今年も母の日参りパートナーシップに参画し、1,500を超える母の日にちなんだ俳句から石産協賞を決定しました。



▲詳細はこちら

事業案内

2024年5月～7月

ホームページにカレンダーが掲載されています。日程の変更は随時お知らせします。

▶ 5月15日(水)・東京(神田)

お墓未来プロジェクト

▶ 5月16日(木)・東京(神田)

第1回理事会

▶ 5月17日(金)・Zoom

災害対策特別委員会+
リーダー研修会

▶ 5月20日(月)・Zoom

加工部会

▶ 5月23日(木)・Zoom

お墓ディレクター委員会

▶ 6月7日(金)・香川県高松市

第2回正副会長会議

▶ 6月18日(火)・東京

輸入卸商部会

▶ 6月18日(火)・東京

顧客満足推進委員会

▶ 6月19日(水)・東京(浜松町)

第15回定時総会

▶ 6月20日(木)・東京(浜松町)

第1回全国支部長連絡会議

▶ 7月3日(水)・東京+Zoom

墓石部会

むれ源平

協賛

石あかりロード

2024年8月24日～9月7日
(香川県高松市)



石屋ならではの
LINEスタンプ

他にも「使える」
LINEスタンプが
計40種



石を愛するコミュニティ



一般社団法人

日本石材産業協会
The Japan Stone Industry Association

東京都千代田区神田多町2-9 日計ビル2階
Tel:03-3251-7671 Fax:03-3251-7681
https://www.japan-stone.org/
企画・編集・発行:石産協事務局

編集 変化や改革が望まれる現代
後記 ですが、変わらずに迎える風景に何か安心を覚えます。今年も桜満開！[広報担当理事 吉野 博]